

# 伝統文化の 源流に触れる

2023年7月30日(日)

開場：12:30から 開演：13:00から 終了予定：15:30 会場：国立文楽劇場小ホール

## <第1部> 林家染太 (はやしやぞめた) 落語公演会



林家染太 (はやしやぞめた) 次世代を担う若手落語家筆頭株。

1975年(昭和50)年10月5日愛媛県松山市生まれ  
2000年(平成12年)4月7日「林家染丸」に入門  
関西大学卒業後、四代目林家染丸に入門。  
落語の殿堂、天満天神繁昌亭を中心に、全国各地で独演会、講演会、テレビ、ラジオで活躍中。  
若手落語家コンクールでは、月間チャンピオン、そして年間グランドチャンピオンに輝く。その他優勝多数。  
子供から大人まで楽しめる大爆笑の滑稽噺から、涙を誘う人情噺、また創作落語(オーケストラや、ジャズとのコラボ落語など)をこなし、今、注目の噺家である。  
また、英語落語、スペイン語落語、フランス語落語、ハンガリー落語を得意とし、海外でも絶賛されている国際派の落語家である。

## <第2部> インド音楽シタールとタブラの演奏会



田中 峰彦 (シタール)

1983年民族音楽魅せられシタールをはじめ。1988年渡印、シタールの巨匠故ニキル・ベナルジーの直弟子で演奏家のアミット・ロイ氏に師事。各地で演奏活動を行い、豊かな詩情とワイルドさをあわせもった演奏には定評がある。また古典の一方では、作曲家としての評価も高く、民族音楽の旋法や歌いまわしを駆使した楽曲を独自の奏法により発表。様々な演奏家や舞踊家との共演、海外での公演、テレビ・ラジオ出演など、精力的な活動を展開している。CD作品は、自作曲による「ミネラル・ファンタジー」など。その他参加CD多数。後進の育成にも尽力している。

2016年より大阪音楽大学講師。



田中 りこ (タブラ)

1989年インド各地を旅行中にインド古典音楽の演奏に触れ、とりわけ打楽器タブラの豊かな音色と表現力に魅せられ、帰国後より吉見征樹氏のもとで学び始める。1995年再びインドのカルカッタに渡り、タブラ演奏家オビジット・ベナルジー氏に師事。現在は関西を拠点にホールや社寺など各地でインド音楽を中心とした演奏を行なうほか、テレビ・ラジオ出演、海外での公演、他ジャンルのCD作品への参加など、様々な活動を行っている。

### 現地案内図



- ◎会場：国立文楽劇場小ホール(大阪府中央区日本橋1-12-10)  
最寄駅：地下鉄堺筋・千日前線「日本橋」駅下車  
7番出口より徒歩1分

- ◎参加無料  
事前にハガキ又はメールにて住所/氏名/電話番号をご記入の上、下記までお申込みください。

- ◎主催/連絡先：一般社団法人老人文化会議(大阪府西区江之子島1-7-3)  
TEL:06-644-2777 E-mail:info@eldernets.or.jp